

CHINA AID 2010



www.china-aid.com

第五届中国国际残疾人和老年人 康复护理技术及辅助器具展览会

The Fifth China International Exhibition of Rehabilitation,
Nursing & Healthcare for Elderly and Disabled People

展会报告

SHOW REPORT



報告書

中国民政部と中国障害者連合会の指導と支援のもとで、各地の民政部及び障害者連合会の協力の下で、上海万博会事務協調局の特別支持が得られた大型イベントの一つとして、「第五回中国障害者・高齢者国際福祉機器展示会」

(CHINA AID 2010) は、2010年5月17日から三日間にわたって、19日に上海国際展覽中心で成功裏に幕を閉じました。出展者、来場者とも高い満足度を示し、業界において幅広く認められ、好評を獲得しました。

今回の展示会は、ちょうど中国上海万博開催にあたり、人類の知恵と文明の結晶が集結して、世界の注目を集めるフォーカスでもある万博を機会にして、国際及び国内の業者に交流の場を提供させていただきました。

今回の展示会は、政府関連部門及び各関連機構幹部のご関心を得ており、大変重視されました。中国障害者連合会副主席の呂世明さんが2回も展示会にご臨席の上ご指導くださり、中国障害者連合会リハビリ部主任の尤紅さん、中国障害者連合会組織連絡部主任の張儀鳳さん、中国障害者補助器具センター主任の陳振声さん、中国肢体障害者協会主席の徐鳳建さん、上海障害者連合会党組書記の葉興華さん、上海市障害者連合会理事長の金放さん、上海市民政局副局長の高菊蘭さん、中国国際貿易促進委員会上海市分会副会長の余晨さん、上海市障害者連合会副理事長の季敏さん、浙江省障害者連合会副理事長の呉一農さん、江蘇省障害者連合会副理事長の肖敏さんなどのリーダーが開幕式に出席し、シンポジウムに参加し、展示会を見学しました。

一、中国国内、海外有名メーカーが盛大なる展示会に集まり、「理解・愛・調和がとれた生活」をともに創造

CHINA AID は、2000年に初めて開催され、2010年に5回目となりました

た。中国国内において、一番早く行われる国家レベルの貿易補助用具専門展として、中国民政部、中国障害者連合会、上海市委と市政府及び関連部門の高度な重視が得られてきました。CHINA AID は、業界メーカー向けの専門展として評判がよく、広く認められています。今回の展示会は、上海万博の影響力を十分に活用し、「万博会生命陽光館」と提携し、機構、出展者、来場者、関連者などに全方位、多角度の舞台を提供いたしました。

CHINA AID 2010 は、「理解・愛・調和がとれた生活」をテーマとする専門的、国際的な展示会です。総展示面積 6,000 平米あり、業界の有力企業をはじめ、100 社以上の出展企業が集まりました。

国際化比率が高い。海外の出展者は、展示面積の 52%を占め、主にドイツ、アメリカ、イギリス、フランス、オランダ、ベルギー、スウェーデン、シンガポール、日本、中国台湾など 11 の国か地区からの企業です。

有名メーカーが雲集。例：日本の Kawamura、CST、Kansai Silver、Invacare、Sidhil、Braun、Nissin、Vermeiren、Shoprider、NITA、ARJO、Stannah、トヨタ通商、松永；美利馳、魚躍、連合国際、錢璟、愛司米、上海 GLBL、互邦、匯衆、峻倫、康林仁和、南鑫、尚邦、大陽日酸、中国電信、上海銀行、IBM など。

展示品の範囲が広い。前回と比べて、今回の展示会は、規模がより大きければ、展示品もより多いです。技術レベルが高いし、専門性も一層際立ちます。展示品は障害者用昇降設備、障害者用自動車、車椅子、電動スクーター、歩行補助用具、障害者用バス・トイレ設備、多機能介護ベッド、移動用リフト、ハイテク教育補助装置、酸素ボンベ機器、医療リハビリ機器、各種リハビリ用機器及び日常生活補助用品などが様々あって、障害者、高齢者用品をカバーしました。

入場者のレベルが高い。今回の展示会は、全部で 19 ヶ国・地域からの 7,378 人の来場者を受け付けました。前回より 20%増えました。その中には、中国本土の来場者 7,094 人（24 の省、市の中の 93 の市から）で、海外来場者 284 人でした。会期中に会談、成約できたケースが明らかに増加し、プロの来場者やバイヤーのレベルも前回より高かったです。

二、斬新なる企画が多く、人間性にあふれたサービスを提供

◇ 上海万博「生命陽光館」と提携

今回の展示会はちょうど上海万博が行われる時期にあたりました。万博は159年の歴史にわたって、初めて障害者総合パビリオン「生命陽光館」を設けました。CHINA AID 2010は、「生命陽光館」の関連イベントとして、「生命陽光館」の理念を説明表現する舞台から、具体的な技術、設備及び製品を展示する舞台へとつなげ、出展者、来場者及び関連者に全方位、多角度の交流舞台を構築しました。

◇ 「科学技術で高齢者をサポート」体験

「科学技術で高齢者をサポート」体験は、上海市科学技術イベント・ウィークの市レベルプロジェクト「第九回高齢者デジタル生活科学普及週」の重要な一環として、上海の高齢者に科学技術生活、科学技術の応用、多彩な高齢生活を展示する舞台を提供し、政府や高齢者にサービスを提供する関連部門に製品やサービスを紹介し、高齢者サポート経験の交流の場としても役に立っています。

◇ 特設障害者施設コーナー

今回の展示会は、障害者施設コーナーを特設し、交通、居宅、情報など多方面にわたる障害者施設及びの応用の仕方を展示し、障害者別の施設製品が見学できました。障害者施設コーナーの出展者も専門のプロモーション・イベントを企画しました。

◇ 会場で人間性にあふれたサービス

CHINA AID 2010は、細かい点を重視し、人間性にあふれたサービスを提供しました。例えば、障害者と高齢者への車椅子無料貸出サービス：車椅子を押し、展示会を案内するサービスを提供しました。そして、主催者は有名な病院からお医者さんを招き、高齢者や障害者にリハビリや保健に関する講座を行っていただき、無料診断サービスを提供しました。そのほかに、来場者に飲用水を無料で提供し、会場に特設救急ステーションも設置しました。

三、会期中に行われるイベントは社会の注目問題に目をむく

1、「障害者補助機器の発展、障害者協力及び障害者福祉事業」をテーマにシンポジウム

当シンポジウムは、中国国内で論文を募集し、江蘇省、浙江省、上海市三つの地方の障害者連合会のリーダー、日本やシンカーポールなど海外の国から専門家を招き、障害者福祉事業の現在と未来において、社会の注目となる問題について討論しました。中国障害者連合会リハビリ主任の尤紅さんは、重要な発言をした上で、障害者補助機器の発展についてアドバイスをし、障害者福祉

事業の発展について各部門、企業の努力を呼びかけました。

2、2010 民政福祉施設院長討論会

討論会は、全国の百軒に近い福祉施設の院長さんを招き、業界の専門家が、民政福祉施設の発展方向、社会が現代民政福祉施設における役割と有効利用、民政医療機構の発展戦略、高齢期痴呆の専門化介護などの問題について深く討論しました。

3、「科学技術で高齢者サポート」展示コーナー

CHINA AID 2010 は、「科学技術で高齢者サポート」コーナーを設置し、来場者に「科学技術で高齢者サポート」する知識と未来の高齢化社会を紹介しました。来場者は、マルチメディアを通して、科学技術で老人生活を改善する明るい未来を体験できました。製品とサービス体験コーナーでは、来場者が「科学技術で高齢者サポート」することを体験し、楽しむと同時に、以下のサービス内容も体験できます。ネットサービス住宅地、IPTV、老人エレクトロニクス・ビジネス、オンライン・エンターテインメントとオンライン・ビデオ、携帯ターミナル応用、銀行 ATM 使用、障害者補助技術及びその応用、デジタル技術、科学技術で高齢者をサポートする訓練、科学技術で高齢者をサポートするボランティアの役など。インタラクティブ・コーナーでは、来場者はインタラクティブという形で「科学技術で高齢者をサポート」して試みる事ができます。ここは、発表の舞台であり、講座を行い、模擬ゲームを体験し、業種の交流もでき、インタラクティブの力が十分に生かせる舞台でもあります。

4、国際リハビリプロジェクトと補助技術大会 (i-CREATe 大会) 説明会

i-CREATe 大会は、前から各国政府の関心と支持を得ており、国際においても有名な大会で、タイ国のプリンセスのシリントーン様にも前から関心、支持を頂いております。シリントーン様は、来年展示会にご臨席になって、会議のテーマにめぐってスピーチをすることになっています。今年の CHINA AID 2010 展示会を機会にして、来年の合作について話し合っておきました。

5、「完璧なりハビリを楽しみ、すばらしい人生を展示」

——上海市長寧区障害者 中国画院万博祝いのオリジナル作品展

当展示会は、主に中国の伝統的な文化芸術を展示し、「わたしもできる」、「参加」、「融合」、「寛容」、「愛」、「平等」などの人文的精神を繋いで宣伝し、障害者のリハビリ後の颯爽とした姿、明るい顔を展示しました。



なお、展示会と並行して、中国肢体障害者協会第五回第3次全体委員会議、万博に車椅子を百台提供する寄付儀式、技術交流会、リハビリ保健講座などが行われ、参加者が協力し合って、成功を収めました。

四、マスコミ全方位報道、視聴者が共感

今回の展示会は、影響力の強い新聞社を12社、テレビチャンネルを1つ、ラジオ放送局を2つ、アクセス数が多いウェブサイト을4つ厳選して宣伝を行いました。多数のマスコミは、展示会に出たハイテク製品及び「科学技術で高齢者サポート」するコーナーなどを写真付きで報道しました。例えば、新聞晨报の『時速15キロ：速く「歩く」知能車椅子』、天天新報の『車椅子に座っても立って「歩ける」』、大公報の『両足が不自由でも運転の夢がかなえる』、新聞晩報の『老年者はネットで万博を「満喫」できる』などの記事は、高齢者や身体障害者を助ける科学技術の新成果とそれに伴う高齢者や身体障害者にもたらせる生活の変化などを紹介し、社会の関心を呼びました。そして、開放日報、新民晩報、東方早報、青年報、時代報、上海日報などの新聞社は、主たるページで展示会についての記事を幅広く載せました。新波網、東方網、上海熱線、中新社など影響力の強いウェブサイトも展示会の盛況を報道、転載しました。ラジオでは、上視新聞が会場インタビューで取材した番組は、流された後に強い反響を喚起しました。上海人民放送局、上海東方放送局、都市792ヘルツも展示会に関する情報が流されました。

五、出展者からいい評判、手を組んで展示、売上の舞台を構築

出展者に対するアンケート調査の結果によると、95%の出展者は来場者のレベルを認め、98%の出展者は開催者の事前準備に満足し、95%の出展者は開催者の展示場サービスを肯定し、90%の出展者は次回も出展する意向を示しました。

Kansai Silver Service Association（日本銀発産業協会） 定 幸生 副理事長

「China Aid が日々成長しているのが目に見えて、今回もいつものように楽しみにしています。China Aid はこれから必ず日本メーカーが中国に進出する舞台になって、業界においてもっとも重要な展示会の一つにもなると思います。」

英維康リハビリ機器（蘇州）有限公司（INVACARE） 中国区営業部長 苏



蘇俊さん

「うちは世界で一番大きいリハビリ機器メーカーで、今回 China Aid 2010 に展示した先端製品は各ディーラー、エージェントに認めてもらえました。2010 年の新製品もみんなの目を引いて、会期中にすでにディーラーやエージェントから注文を受けました。」

常州中進医療器材有限公司 マネージャー 王爾琪さん

「China Aid に出展するのはメーカーのブランド宣伝、市場開拓に大事なことです。今回の展示会は思った以上に効果がありました。展示会は日々成功しているのが目に見えています。NISSIN は一流の品質でこの市場で先手を取ります。」

錢璟グループ（常州市錢璟リハビリ機材有限公司） CEO 樊燕成さん

「2000 年に行われた初めての China Aid 展示会から必ず出展して、今まで欠席したことが 1 回もありません。今年の展示会は手配が完璧で、出展者も来場者も一番多い。うちは全国各地で事務所を設けて、しっかりしていますが、やはりここで新製品を発表することにしました。」

英国世道 / 嘉興樂博五金製造有限公司総代理 マネージャー 張秀和さん

「中国市場に進出する会社として、重要なお客様にメーカーを宣伝するのが一番です。そのために、China Aid に出展するのが賢明な選択だと思います。」

安究医療設備 / 上海峻倫電子科技有限公司総代理 マネージャー 李鵬さん

「China Aid はサービス、来場者の受付など、よくできています。来場者は思ったよりずっと多かったし、おかげで内の展示も成功できました。次回もぜひ出展させてください。」

上海南鑫介護設備用品有限公司 CEO 徐丹さん

「今回 China Aid はよくできています。内に必要なお客さんがほとんど来場しました。プロな養老施設としてみんなに見せるチャンスがいただけ、内のブランドを宣伝するのでもできました。お客さんとの深いつながりを築くのに力を貸してくれました。」

六、来場者が積極的で、好評は展示会が前向きに進むように励まし

中国リハビリ機器協会車椅子專業委員会 張選文主任

「メンバーを集めて今回の展示会を見学しました。新製品を出したことからも出展者の重視さが分かりました。展示品をたくさん見られたし、来場の甲斐がありました。」

深セン市障害者補助用具資源中心 副主任 鐘磊さん

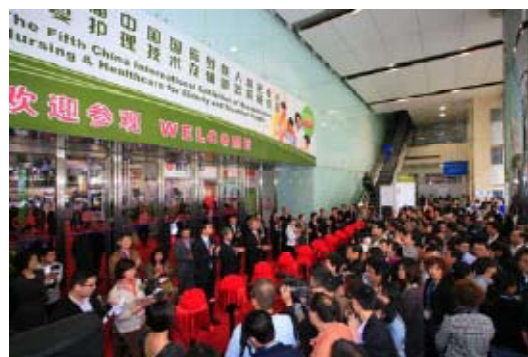
「China Aid に出展するのは2回目です。専門性、サービスのよさなど、強く感じます。うちは会期中にもう何社かの注文を受けました。」

上海市第三社会福利院 院長 張乃子さん

「この展示会が行われるたびに必ず見に来ます。今回の展示会が一番規模が大きく、もっとも技術が進んでいる、新製品が新しいのです。購買者にワン・ストップ・ショッピングの展示会を提供できるように、China Aid はこれからも盛大に行われるのを信じます。」

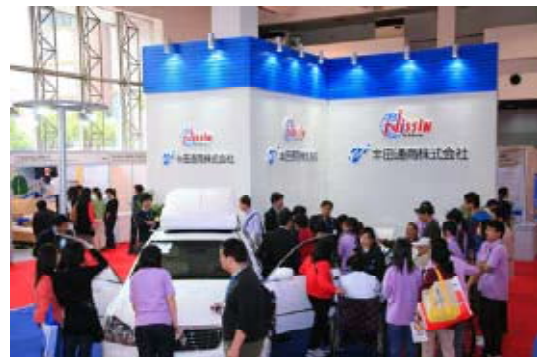
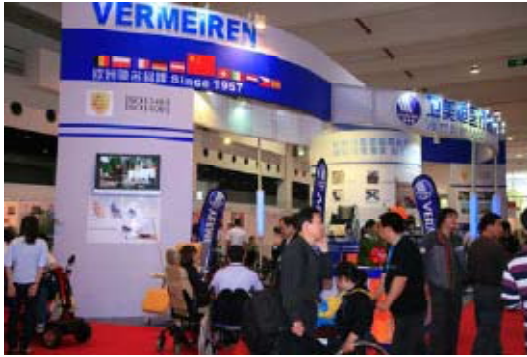
2010 年展示会概略

開幕セレモニー



現時会場





並行イベント





China Aid が歩んできた 11 年を顧みてわかるように、われわれはまだ前に向いて歩み、努力している途中です。経験や不足をまとめて、政府、各部門、企業、あらゆる来場者の励ましと支持のもとで、これからも全力を尽くして行きます。この展示会を政府と各部門が高齢者・障害者の政策を実施する舞台、企業が展示、売買する舞台、中国国内製品と技術交流する舞台、全社会が高齢者・障害者に愛を注ぐ舞台、業界メーカーが集まる舞台として構築し、高齢者人・障害者事業の発展に自分なりに貢献して行きたいです。

添付ファイル： 来場者分析レポート

China Aid 組織委員会

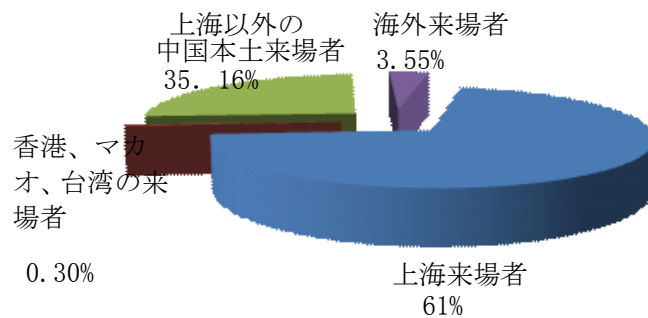
2010 年 6 月

2010 年来場者データ分析レポート

一、 来場者データ

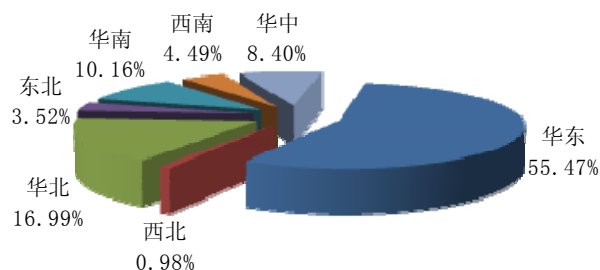
今回は、19 カ国と地域の来場者 7,378 人を受け付けた。前回より 20% 増えた。内訳は、中国国内の来場者 7,094 人（24 の省か市にある 93 の市から）と海外来場者 284 人となっている。専門家の来場者レベルも前回より大幅に向上している。

二、 来場者分類



● 中国本土来場者地域別統計（行政地域）

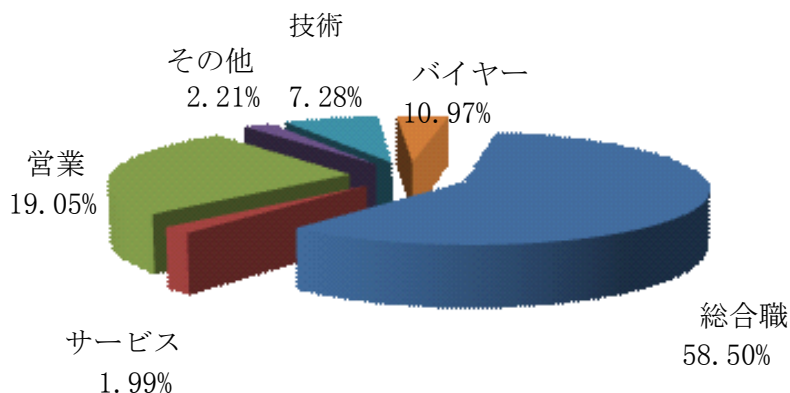
行政地域で分析すると、展示会が行われる場所の上海が占める 61% を除いて、来場者が所属する行政地域情報は下記の通りである：華東からの来場者は 55.47% を占め、西南は 4.49%、華北は 16.99%、西北は 0.98%、華南は 10.16%、東北は 3.52%、華中は 8.40% です。





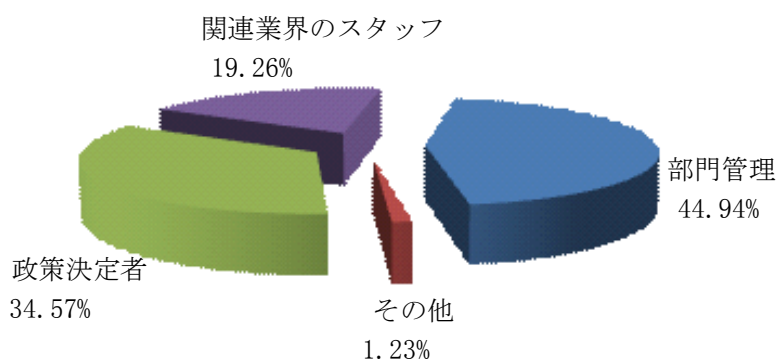
● 来場者部門別分析:

来場者のデータを分析した結果は、下記のグラフが示したとおりである。



● 来場者の職務分析:

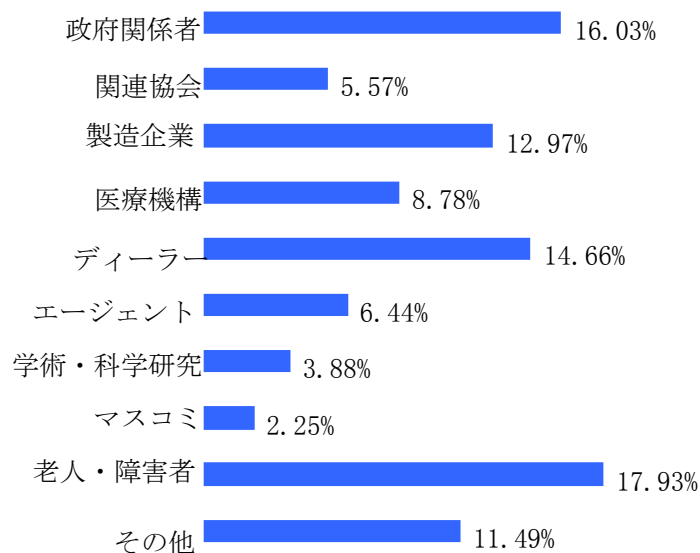
統計結果は下記の通りである:



上記の分析で分かるように、展示会はレベルの高い来場者を受け付けた。管理者や政策決定者が多い。

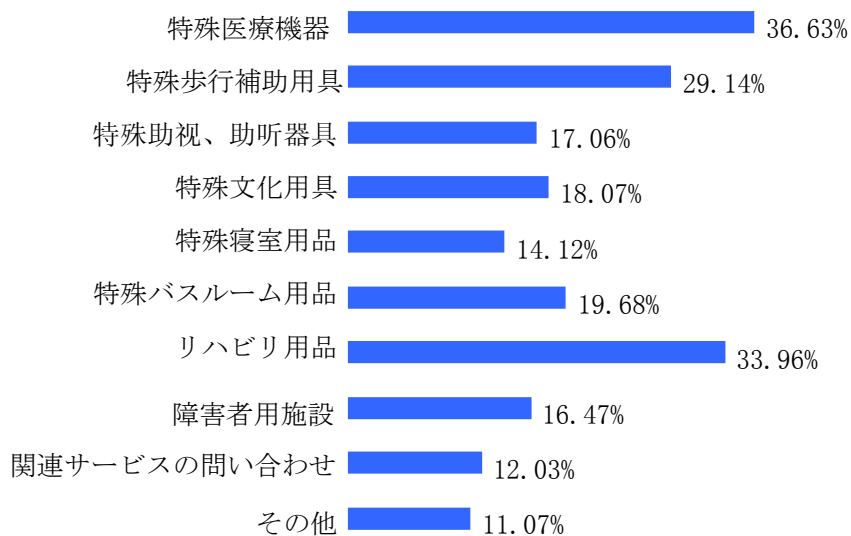
三、来場者登録情報分析

質問 1. ご勤務先は:



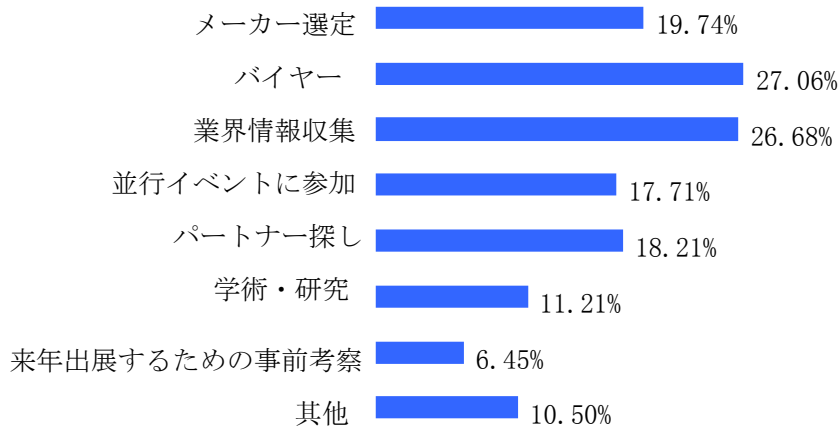
来場者の所属については、政府関係者、ディーラー、エージェント、医療機構が大半を占めた。専門性が強い。ある程度、老人や障害者の目を引いた。

質問 2. 注目するのは:



今年のアナケート調査によると、特殊医療器械、リハビリ用品、特殊歩行補助器具の注目度がトップ3に入っている。

質問 3. 来場の目的は:



来場者の目的については、バイヤー、業界情報収集、新しいメーカーを選定するのが来場の主な目的で、パートナー探しや並行イベントに参加するのも割合が高い。

www.china-aid.com